

医療的ケア児等の保育所、学校における看護支援体制について

障がい者支援課在宅支援係
 医療的ケア児等支援スーパーバイザー
 三代澤幸秀 亀井智泉

1 現状

- ① 就学前：医療的ケア児保育支援モデル事業 <負担割合 国:1/2、県 1/4・市町村 1/4 >
 市町村が看護職を雇いあげ、保育所等に必要に応じて派遣する等の取り組み
R3 年度 9 市町村 10 施設
 また、私立保育園 1 園が独自に看護師複数名を雇用、3 名の医ケア児等受け入れている

② 県立特別支援学校 R3 年度 看護師配置

- ・対象児童生徒数 156 名(入所生 24 名含む) (令和 3 年度見込)
- ・対象学校 17 校
- ・配置看護職 常勤看護師 2 名、非常勤看護師 40.6 人
- ・宿泊学習等にも看護師が付き添い、医療的ケアを行う
- ・特別支援学校に看護職を配置(訪問看護ステーションに委託)、登下校対応を行っている市町村がある。

③ 小中学校 医療的ケアのための看護師配置事業(切れ目ない支援体制整備充実事業) R2 年度

看護職配置学校数		対象児童生徒数		配置した看護職数		特記
小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	
合計		合計		合計		
31	4	38	7	60	9	
35		45		69		登下校時対応看護師 3 名、 校外活動対応看護師 2 名

④ 後方支援の試み

- ・医療的ケア児等が通学する小中学校の巡回指導 (令和 2 年度から)
 市教委、三代澤医師、圏域医療的ケア児等コーディネーター看護師、亀井 SV
- ・医療的ケア児等が通学する学校における救急シミュレーション研修開催

2 課題

- 看護人材の不足と看護スキルのクオリティコントロール
- 保育 / 教育の場における看護の役割が不明確
- 保育士、教職員との役割分担、連携が不明確
- 看護職を支援する医療連携の不足

3 今後の取り組み

- 看護支援人材育成、スキルアップ、教職員の医療的ケア理解啓発のため研修の充実
- 医療安全の確保
(緊急搬送先の確保、緊急対応マニュアルの作成、救急シミュレーション研修の実施)
- 基幹病院の小児科、主治医、訪問看護の連携による学校における医療的ケアの後方支援体制構築
(「看護指示書」「診療情報提供」「訪問看護情報提供書」等、状況報告、相談による情報共有)